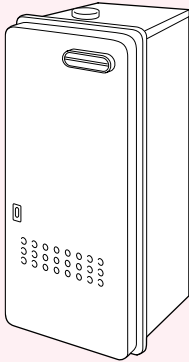


暖ライフ50 暖房専用熱源機

135-N910型

型式名 GH-603W



(温水温度リモコン)

まず	必ずお守りください(安全上の注意)・・・	2
はじめに	各部のなまえとはたらき(機器本体)・・・	7
	各部のなまえとはたらき(リモコン)・・・	8
	初めてお使いになるときは	9

使いかた	温水温度リモコンがない場合	
	暖房(乾燥)する	10
	温水温度リモコンがある場合	
	時計を合わせる/時計を表示させる	11
	リモコン操作音を消す(鳴らす)	12
	暖房(乾燥)する	13
	暖房の開始時刻を予約する	14
	暖房の終了時刻を予約する	15

必要な ときに	暖房水の補給について	16
	凍結による破損を予防する	17
	日常の点検・お手入れのしかた	19
	故障・異常かな?と思ったら	20
	アフターサービスについて	21
	主な仕様	22
	保証書	裏表紙

取扱説明書 保証書付

大阪ガス

このたびは大阪ガスの暖房専用熱源機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

*この取扱説明書をよくお読みになって、正しくご使用ください。なお、ご不明な点があればお買い上げの販売店にお問い合わせください。

*保証書の内容もよくお読みいただき、保証期間・保証内容などを確かめてください。

*この取扱説明書(保証書付)はいつでもご覧になれるところに保管してください。

SAR8630



SAR8630 T

必ずお守りください(安全上の注意)

お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分・表示をしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容を示しています。

危険



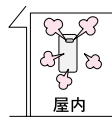
- ガス漏れに気づいたときは、
1. すぐに使用をやめる
 2. ガス栓を閉める
また、メーターのガス栓も閉める
 3. 販売店または、もよりの大阪ガスに連絡する



- ガス漏れ時は、絶対に
- ・火をつけない
 - ・電気器具のスイッチの入・切をしない
 - ・電源プラグの抜き差しをしない
 - ・周辺の電話も使用しない
- 火や火花で引火し、火災の原因になります。



- 屋内に設置しない
一酸化炭素中毒の原因になります。

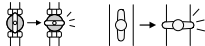


警告



地震、火災などの緊急の場合は、次の手順に従う

1. 放熱器の運転スイッチを「切」にする
2. 【温水温度リモコンがある場合】
温水温度リモコンの暖房スイッチを「切」にする
3. ガス栓・給水元栓(給水配管がある場合)を閉める



点火しない場合または、使用中に異常な臭気、異常音、異常な温度を感じた場合や、使用中で消火する場合は、ただちに使用を中止しガス栓を閉める

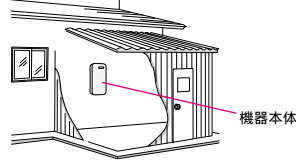
使用中に異常があった場合は、「故障・異常かな?と思ったら(☎P20)」に従い処置をする

上記の処置をしても直らない場合は、使用を中止し、販売店に連絡する

(つづき)



- 増設築などで屋内状態にしない
(波板囲いなどをしない)



一酸化炭素中毒・火災の原因になります。



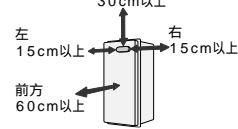
- ガス配管接続工事は専門の資格、技術が必要のため、機器の設置・移動・取り外しおよび付帯工事は、販売店または、もよりの大阪ガスに依頼する
安全に使用していただくため。



- お客さまご自身では絶対に分解したり、修理・改造はおこなわない
思わぬ事故や故障の原因となります。



- 燃えやすい物とは離す(樹木、木材、箱など)
火災予防のため。



- スプレー缶やカセットこんろ用ボンベを、機器本体や排気口のまわりに置かない、使用しない
熱でスプレー缶の圧力が上がり、スプレー缶が爆発するおそれがあります。



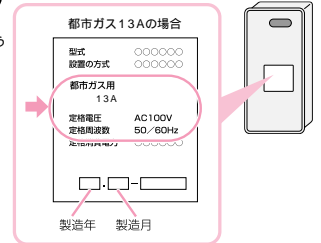
- 灯油、ガソリン、ベンジンなど、引火のおそれのある物を機器本体や排気口のまわりで使用しない
火災の原因になります。



- 燃えやすい物をまわりに置かない
(洗濯物、新聞紙、灯油など)
火災の原因になります。



必ず銘板に表示のガス・電源で使用する



表示のガス種および電源が一致しないと、不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどしたり、機器が故障する場合があります。
特に転居した場合は、必ずガスの種類・電源の種類が一致しているかどうか確認してください。わからない場合は、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。



- 機器本体やガスの接続口、排気口などに乗らない
けがや、機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。



- 電源コード、電源プラグの破損・加工をしない
束ねたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、物を乗せたり、衝撃を与えたりして無理な力を加えない。傷つけない。加工をしない。
感電、ショート、火災の原因になります。



- 電源プラグはぬれた手でさわらない
感電の原因になります。



- 電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不充分だと、感電や火災の原因になります。



- 電源プラグのほこりは定期的に取り除く
ほこりがたまると、火災の原因になります。
電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

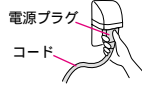
(つづく)

必ずお守りください(安全上の注意)2

(つづき)

⚠️注意


必ずおこなう 電源プラグは、コードを持たずに電源プラグを持って抜く
コードを持って抜くと、コードが破損し、発熱、火災、感電の原因になります。



必ずアースする 機器が故障した場合、感電の原因になります。アースがされていない場合は、販売店または、もよりの大阪ガスにご相談ください。

必ずおこなう 乾電池に関する注意 取り替え機器についてのお願い) 機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼してください。もしお客さまで旧機器の処理をされる場合、乾電池を使用している機器は、乾電池を取り外してから正規の処理をしてください。

接触禁止 使用中や使用後しばらくは、排気口付近に触れない
やけど予防のため。



必ずおこなう 機器の点検・お手入れ・水抜き・暖房水の補給をする場合、放熱器の使用を停止し、温水温度リモコンがある場合は暖房スイッチ「切」にし、機器が冷えてからおこなう
やけど予防のため。
機器の使用直後は、機器内のお湯が高温になっています。

禁止 暖房・乾燥以外の用途には使用しない
思わぬ事故を予防するため。

🙏お願い

電源プラグを抜く 雷が発生しはじめたら、すみやかに運転を停止し、電源プラグを電源コンセントから抜く(またはブレーカーを落とす)

雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。雷がやんだあとは、電源プラグを電源コンセントに差し込み、温水温度リモコンがある場合は時計を合わせてください。

ぬれ手禁止 冬期は、電源プラグを長時間抜くと凍結のおそれがあります。

感電注意



【温水温度リモコンがある場合】

温水温度リモコンを分解しない

故障や、思わぬ事故の原因になります。

温水温度リモコンの掃除には、塩素系のカビ洗浄剤や酸性の浴室用洗剤などを使用しない

変形する場合があります。

温水温度リモコンに、水しびきをかけない、蒸気を当てない

炊飯器、電気ポットなどに注意。故障の原因になります。

温水温度リモコンを子供がいたずらしないよう注意する

機器のまわりはきれいにしておく

まわりが雑草、木くず、箱などで雑然としていると、機器の内部にゴミが侵入したりクモの巣がはったりして、機器の損傷や火災の原因になることがあります。

凍結による破損を予防する(☞P17~18)

暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがありますので、必要な処置をしてください。

凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。

長期間使用しない場合、必要な処置をする(☞P18)

凍結および万が一のガス漏れを防止するため。

(つづく)

(つづき)

排気ガスが直接建物の外壁・窓・アルミサッシなどや、物置などの塗装品などに当たらないように設置する
増改築時と同様に注意する

ガラスが割れたり、変色したり、塗装がはがれたりする原因になります。

塀などを増設する場合は、機器の点検・修理に必要な空間を確保し、空気の流れが停滞しないように考慮する

塀などと機器との間に十分な空間がないと、機器の点検・修理に支障をきたす場合があります。また、機器の周囲の空気の流れが停滞すると、燃焼不良になるおそれがあります。(機器の修理・点検に必要な空間については、販売店または、もよりの大阪ガスに確認してください)

使用時の点火、使用後の消火を確認する
ガス事故防止のため。

【温水温度リモコンがある場合】
停電後や、長期不在などで電源プラグを抜いたあとは、現在時刻を確認する

積雪時には給気口、排気口の点検、除雪をする
雪により給気口、排気口がふさがれると不完全燃焼し、機器の故障の原因になることがあります。

業務用の用途では使用しない

この製品は家庭用ですので、業務用の用途で使用すると製品の寿命を著しく縮めます。この場合の修理は、保証期間内でも有料になります。

この機器の純正部品以外は使用しない
思わぬ事故の原因になります。

【給水配管がある場合】

温泉水、井戸水、地下水で使わない

水質によっては、機器内の配管に異物が付着したり、腐食して水漏れすることがあります。この場合の修理は保証期間内でも有料になります。

【給水配管がない場合】

シーズン初めは暖房水を補給する(☞P16)

シーズン初めは暖房水が少なくなっていますので、機器を停止して暖房水を補給してください。

床暖房に関しては、以下の記載事項もお守りください

⚠️警告

禁止 床暖房中、床面に長時間座ったり寝そべったりしない
比較的低い温度でも低温やけどなどの皮膚障害を起こす危険があります。特に病人、高齢者、乳幼児、皮膚の弱い方などには、ご家族の方が十分に注意してください。

禁止 床暖房の上に、スプレー缶、ライターなどを置かない
熱でスプレー缶などの圧力が上がり、破裂するおそれがあります。

⚠️注意

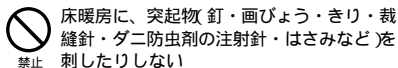
必ずおこなう 水漏れなどの異常に気付いたら、運転を停止する
販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。

禁止 ピアノなどの重い物はそのまま置かない(パッドなどの緩衝材を敷いて集中した荷重がかからないよう設置する)
床が破損し、水漏れのおそれがあります。

(つづく)

必ずお守りください(安全上の注意)3

(つづき)



床暖房に、突起物(釘・画びょう・きり・裁縫針・ダニ防虫剤の注射針・はさみなど)を刺したりしない

水漏れの原因になります。



床暖房の上に、カーペット、ゴザなどの敷物を敷かない
ホットカーペットやこたつなどの併用をしない

床暖房の性能が発揮できなかったり、床暖房の熱がこもって、床仕上げ材がひび割れ、変形、収縮、変色などの不具合が生じることがあります。



床暖房に衝撃を加えない

床が破損し、水漏れのおそれがあります。



床下防塵、防蟻処理などをする場合、床暖房および配管類に処理剤を付着させない
処理剤の溶剤によって床暖房の性能が維持できなくなることがあるので注意してください。

お願い

家具・調度品などを直接床暖房の上に置かない

家具などに熱がこもり、ひずみなどが発生するおそれがあります。床表面と家具などの間に空間をもうけるようにし、熱がこもらないように配慮してください。

キャスター付きの椅子や家具、および車椅子は使用しない

傷やへこみ、床鳴りなどの原因となります。

重い家具などを動かす場合は、必ず持ち上げて移動する

傷や変形などの原因になります。

椅子などを引きずらない

床仕上げ材に傷が付きまでするので、床と接触する椅子の部分にフェルトなどを貼り付けて保護してください。

閉め切った部屋で長時間床暖房を使用しない

閉め切った部屋で長時間床暖房を使用すると、ごくまれに体調が悪くなる場合があります。

接着剤や床仕上げ材のホルムアルデヒドが原因の一つに考えられるので、窓を開放し換気をおこなってください。

(床暖房以外の製品が原因の場合もありますので、床仕上げ材の施工店にご相談ください)

床暖房の床の上に、エアコンやテレビなどのリモコンを長時間置かない

リモコンの故障の原因になります。

床暖房に水がこぼれたら、速やかに乾いた雑巾などでふき取る

水、薬品、しょうゆ、ペットの排泄物などをこぼした場合には、床仕上げ材、床暖房パネルの変色など、品質を損なう場合があります。

常時水の飛び散る台所や洗面所周辺は、濡れたまま長時間放置しない

床仕上げ材や床暖房パネルの品質を損なうことがあります。

床仕上げ材を貼り替える場合には、床仕上げ材メーカー指定工法で施工する

詳しくは、床仕上げ材メーカーにお問い合わせください。

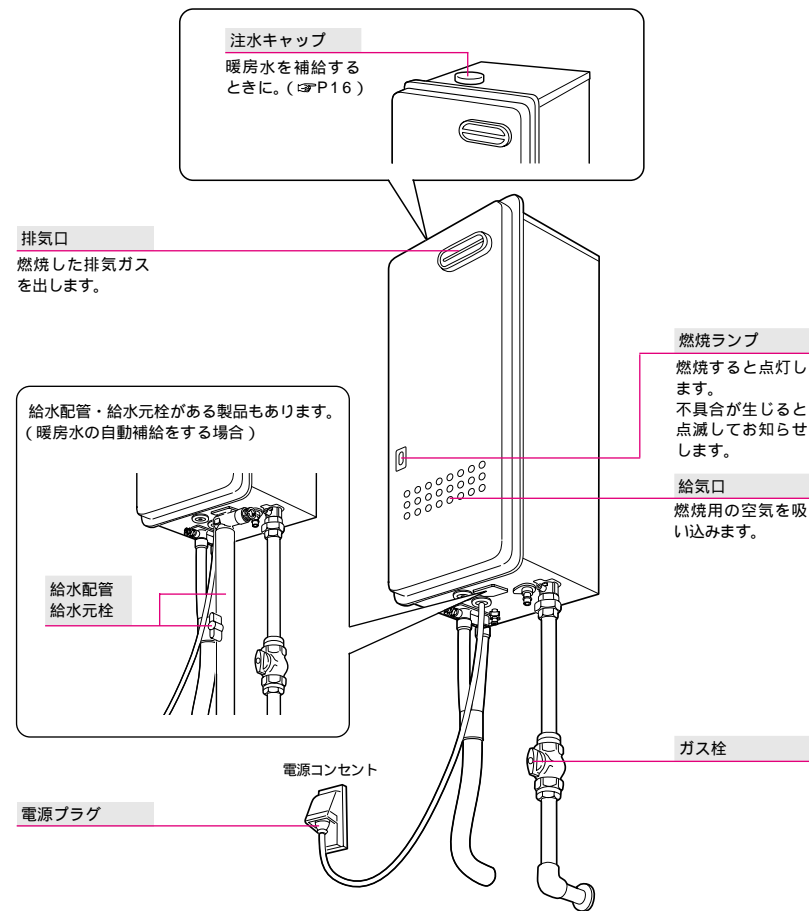
床仕上げ材のお手入れの方法も、床仕上げ材メーカーにお問い合わせください。

床暖房を他の目的に使用しない

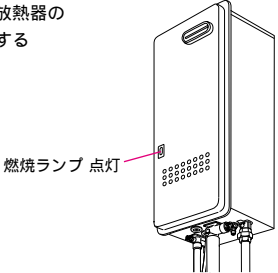
特殊な用途(衣類の乾燥や動物の飼育、植物の栽培、食品の保存など)には使わないでください。

各部のなまえとはたらき(機器本体)

イラストは施工例です。配管の形状、給水元栓・ガス栓・電源コンセントの位置など実際と異なります。



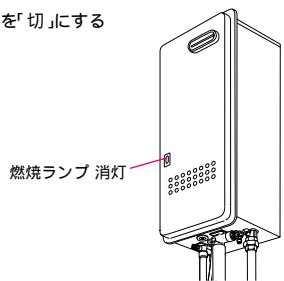
暖房(乾燥)する

操作	お知らせ
<p>1 暖房(乾燥)する部屋の放熱器の運転スイッチを「入」にする</p> 	<p>* 機器が燃焼すると機器の燃焼ランプが点灯します。 * 運転中でも燃焼が停止して燃焼ランプが消えることがあります。</p>

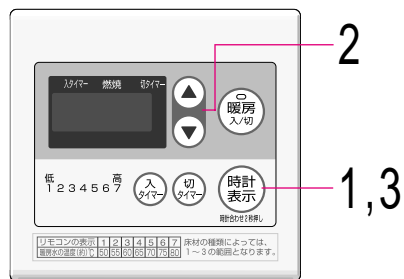
<p>2 必要に応じて、放熱器側の設定(温度・風量など)を調節する</p>	<p>* 放熱器の調節方法などについては、放熱器側の取扱説明書に従ってください。</p>
---------------------------------------	--

暖房(乾燥)をやめたいとき

放熱器の運転スイッチを「切」にする



時計を合わせる / 時計を表示させる



操作	操作後の画面	お知らせ
時計を合わせる		
<p>1 時計表示 を約2秒押す <small>時計合わせを解除し</small></p>		
<p>2 ↑ ↓ で時計を合わせる</p>		<p>* 一度押すごとに1分ずつ、押し続けると10分ずつ変わります。</p>
<p>3 時計表示 を押す <small>時計合わせを解除し</small></p> <p>【設定完了】</p>		<p>* 約10秒間時計を表示したあと、元の画面に戻ります。</p>

時計を表示させる

時計表示 を押す
時計合わせを解除し



* 再度 **時計表示** を押したり、他のスイッチ操作をすると、時計表示が消えます。



* 停電後または電源プラグを抜いたあと、再通電して時計を表示させると **0:00** になっていますので、時計を合わせなおしてください。

リモコン操作音を消す(鳴らす)



温水温度リモコンの各スイッチを押したとき、正常に動作すると「ビッ」という操作音が鳴ります。お好みにより、この音を鳴らないようにしたり、鳴るようにしたりできます。(お買い上げ時は、鳴るように設定しています)

暖房(乾燥)する



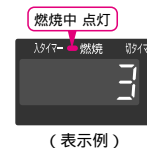
操作	お知らせ
----	------

1 を約5秒間押す

*「リモコン操作音を消す」設定にした場合は、変更できても音は鳴りません。
*「リモコン設定音を鳴らす」設定にした場合は、変更できると「ビッ」と鳴ります。

操作	操作後の画面	お知らせ
----	--------	------

1 を「入」にする



* ランプ点灯。
* 前回設定した温度を表示します。

2 で暖房水の温度を調節する



* 3段階(1~3)または、7段階(1~7)で設定できます。(下表参照)

暖房(乾燥)をやめたいとき

を「切」にする



* ランプ消灯。

<目安の温度>

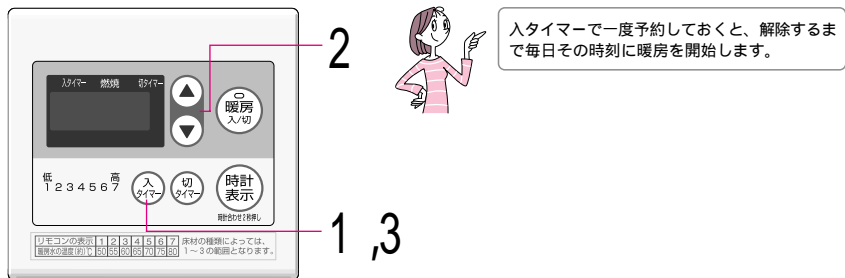
	初期設定(工場出荷時) = 「3」						
温水温度リモコンの表示	1	2	3	4	5	6	7
暖房水の温度(約) < >	50	55	60	65	70	75	80
	低温用(例：フローリング)の場合			高温用(例：畳)の場合			
	通常は1~3で設定できます						

床材の種類によっては、1~7まで設定できるようになっています。その場合、低温用の床材で高温用の温度(4~7)に設定すると、低温やけどのおそれがあります。



* 放熱器の取扱説明書もご覧ください。

暖房の開始時刻を予約する

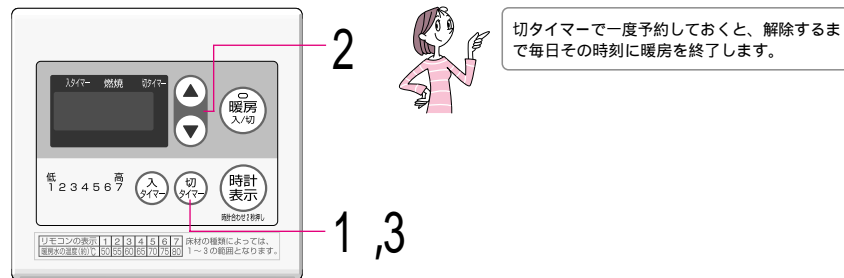


操作	操作後の画面	お知らせ
準備	1. 現在時刻が正しいかどうか確認する(☞P11) 2. 必要に応じて、 暖房 入/切 を「入」にして暖房水の温度を確認する(☞P13) 3. (放熱器側に温度設定機能がある場合) 放熱器の温度を設定しておく	* 放熱器の調節方法などについては、放熱器側の取扱説明書に従ってください。
1 入タイマー を押す		* 暖房 入/切 の「入」「切」に関係なく、設定できます。 * 前回設定した開始時刻を表示します。
2 ▲▼ で開始時刻を設定する (変更しない場合3へ)		* 一度押すごとに10分ずつ、押し続けると1時間ずつ変わります。
3 入タイマー を押す 【設定完了】		* 約30秒そのままにしても設定完了します。

予約を解除するとき



暖房の終了時刻を予約する



操作	操作後の画面	お知らせ
準備	現在時刻が正しいかどうか確認する(☞P11)	
1 切タイマー を押す		* 暖房 入/切 の「入」「切」に関係なく、設定できます。 * 前回設定した終了時刻を表示します。
2 ▲▼ で終了時刻を設定する (変更しない場合3へ)		* 一度押すごとに10分ずつ、押し続けると1時間ずつ変わります。
3 切タイマー を押す 【設定完了】		* 約30秒そのままにしても設定完了します。

予約を解除するとき



暖房水の補給について

給水配管がない場合

暖房水の定期的な補給が必要です

機器の燃焼ランプが断続3回点滅してお知らせまたは温水温度リモコンで故障表示「043」が出た場合は、暖房水が減っていますので、補給してください。
(このとき、放熱器の運転スイッチまたは温水温度リモコンの暖房スイッチを「入」にしても運転しません)



暖房水の補給をする場合、放熱器の使用を停止し、温水温度リモコンがある場合は暖房スイッチ「切」にし、機器が冷えてからおこなう

やけど予防のため。
機器の使用直後は、機器内のお湯が高温になっています。

操作	お知らせ
<p>1 放熱器の運転スイッチを「切」にする 温水温度リモコンがある場合は、暖房スイッチを「切」にする</p>	
<p>2 注水キャップを外す</p>	<p>* 暖房水が高温になっていると湯気が出ることがありますので、冷えてから外してください。</p>
<p>3 やかんなどで水を補給する オーバーフロー口から水(または不凍液)が出るまで</p> <p>オーバーフロー口</p> <p>イラスト上、オーバーフロー口をわかりやすくするためにオーバーフロー配管は省略しています。</p>	<p>* 必ず水道水を使用してください。 温泉水・井戸水・地下水などを使用すると故障の原因になることがあります。</p>
<p>4 手ごたえを感じるまでしっかり注水キャップを取り付ける</p>	

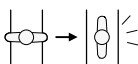


- * 暖房水の補給は1年に1回程度ですが、暖房・乾燥の使用時間により異なります。
- * 暖房水の減りかたが早かったり、急に早くなった場合は、水漏れしている可能性があります。販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。

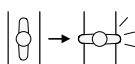
給水配管がある場合

暖房水の補給は必要ありません(暖房水は自動的に補給されます)

* 給水元栓は、開いたままにしておいてください。



* 万一、機器や放熱器から水が漏れたときには、給水元栓を閉めてください。



* 必ず、水道水を使用してください。
温泉水・井戸水・地下水などを使用すると、機器の故障の原因になることがあります。

凍結による破損を予防する-1

お願い 凍結による破損を予防する

- * 暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがありますので、以下をお読みいただき、必要な処置をしてください。
- * 凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。

電源プラグを抜くと凍結予防しないため、電源プラグは抜かない



* 給水配管や給水元栓などの凍結は予防できません。必ず保温材または電気ヒーターを巻くなどの地域に応じた処置をしてください。(わからないときは、販売店に確認してください)

暖房回路を凍結予防するためには、ガス栓を開いたままにしておく



- * 気温が下がってくると、自動的に暖房運転(燃焼)して暖房回路の水をあたため、凍結を予防します。(放熱器の種類によっては、暖房回路の凍結予防ができない場合があります)
- * 不凍液を使用している場合もあります。(機器フロントカバーに貼ってあるラベルを確認してください)


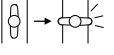
凍結による破損を予防する-2

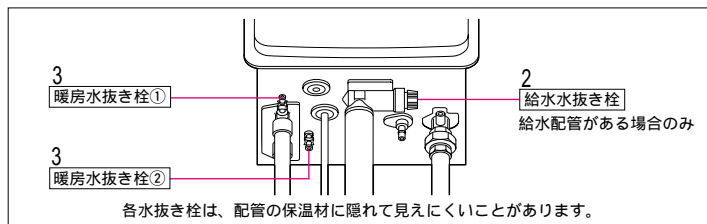
長期間使用しないとき

△注意 **!** 機器の水抜きをする場合、放熱器の使用を停止し、温水温度リコンがある場合は暖房スイッチ「切」にし、機器が冷えてからおこなう

やけど予防のため。機器の使用直後は、機器内のお湯が高温になっています。

下枠のイラストを参照してください。

操作	お知らせ
準備 水抜き栓からお湯が約2.1L出ますので、必要に応じて機器の下に容器などを置いて排水を受けてください。	
1 ガス栓を閉める 	
2 【給水配管がある場合】 1. 給水元栓を開める 2. 給水水抜き栓を左に回して開ける 	*排水します。
3 機器フロントカバーに「不凍液が入っています」というラベルがあるかどうか確認する 【ラベルがある場合】4の操作は必要ありません 【ラベルがない場合】4の操作で暖房側の水抜きをする	
4 暖房水抜き栓①②を左に回して開ける	*排水します。 *放熱器や暖房配管の凍結予防はできません。(凍結する場合があります)
5 完全に排水したら、すべての水抜き栓を閉める	
6 電源プラグを抜く ぬれた手でさわらない 	



再使用のとき

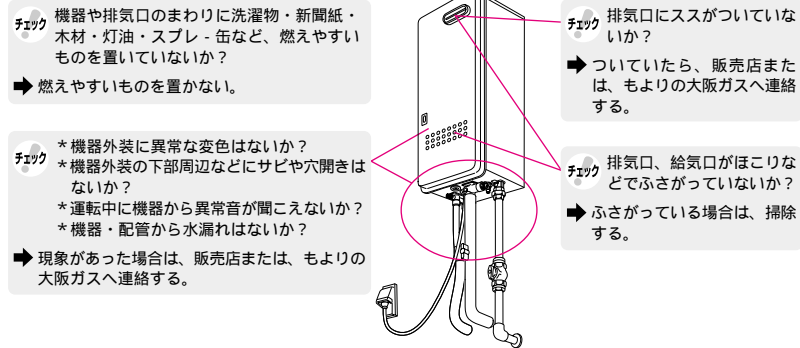
- すべての水抜き栓が閉まっていることを確認する。
- P.9「初めてお使いになるときは」の手順で運転の準備をする。

日常の点検・お手入れのしかた

△注意 **!** 機器の点検・お手入れをする場合、放熱器の使用を停止し、温水温度リコンがある場合は暖房スイッチ「切」にし、機器が冷えてからおこなう

やけど予防のため。
機器の使用直後は、機器内のお湯が高温になっています。

点検(定期的)



お手入れ(定期的)

機器本体

- *機器本体の外装の汚れは、ぬれた布で落したあと充分水気をふきとってください。特に汚れのひどいときには、中性洗剤を使用してください。
- *海に近く潮風が当たりやすい地域の場合、機器に潮風が当たり、機器本体および配管接続部にサビが発生する場合があります。サビがひどい場合は、機器本体内部への影響も考えられますので、点検(有料)をおすすめします。

温水温度リコン

温水温度リコンの表面が汚れたときは、湿った布でふいてください。

お願い 温水温度リコンの掃除には、塩素系のカビ洗浄剤や酸性の浴室用洗剤などを使用しない **お願い** 温水温度リコンに、水しびきをかけないし、蒸気を当てない

変形する場合があります。

炊飯器、電気ポットなどに注意。故障の原因になります。

不凍液の点検と交換(有料)

- *1年に1回は、不凍液の濃度や汚れなどの点検を、販売店またはもよりの大阪ガスへ依頼してください。
- *不凍液の性能が低下していた場合は交換が必要です。交換の目安は2年に1回です。不凍液の性能が低下したまま使い続けると、凍結・破損・腐食の原因になります。

定期点検のおすすめ(有料)

ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年1回程度の定期点検をおすすめします。点検は販売店または、もよりの大阪ガスにご相談ください。

故障・異常かな？と思ったら

* **確認** : 確認していただきたい事項です。

? 運転しない

- * **確認** 停電していませんか？
- * **確認** 電源プラグが抜けていませんか？

? 運転しない

機器の燃焼ランプが1回ずつ点滅する
(●●●●●●●●)
【温水温度リモコンがある場合】
温水温度リモコンに故障表示「113」を表示する

- * **確認** ガス栓は全開になっていますか？
温水温度リモコンがない場合は、ガス栓を全開にして、電源プラグを電源コンセントから抜き(燃焼ランプ消灯)再度電源コンセントに差し込むと使用できます。
- * **確認** ガスメーター(マイコメーター)がガスを遮断していませんか？
- * **確認** LPガスの場合、ガスがなくなっていないですか？

? 運転しない

機器の燃焼ランプが3回ずつ点滅する
(●●●● ●●●●)
【温水温度リモコンがある場合】
温水温度リモコンに故障表示「043」を表示する

- * 暖房水が不足しています。暖房水を補給してください。(P16)

? 放熱器を使っていないのに燃焼ランプが点灯する

- * 凍結予防のため、ポンプが自動的にはたらいて燃焼します。

? ポンプの回転音(ウーン)がする

- * 気温が下がると、凍結予防のために、ポンプを作動させます。
- * 長期間使用しない場合に、暖房回路内にたまった空気を抜き、次回使用するときに支障がないようにするためにポンプが自動的に回ります。
(約1か月ごと)

? 床面がなかなかあたたららない

- * 床仕上げ材の種類・外気温度・住宅構造などによって、あたたかくなるまでの時間は異なります。
(目安：1時間程度)

? 床面のあたたかさが場所によって異なる

- * 温水配管内に温水を循環させて床をあたためるしくみになっています。温水配管の通っているところと通っていないところでは、床面の温度に若干の差が生じます。

? 床暖房の温度変更をしていないのに床面の温度が下がった

- * 床暖房しはじめは、早く床面をあたためるために高温の温水を流し、ある程度時間がたつと、温水を一定の温度に下げます。故障ではありません。

? 床暖房中に音がする

- * 床暖房の熱によって、温水床暖房マットや床仕上げ材などが収縮・膨張するため発生する音、もしくは温水の流れる音で、異常ではありません。

? 床暖房を使用していないのに床があたたまることがある

- * 床暖房回路内にたまった空気を抜くために、約1か月ごとにポンプが自動的に回ります。このときに他の暖房端末(浴室暖房など)を使用していると、床の温度が一時的に若干上昇する可能性があります。

? 床面の足ざわりが場所によって異なる

- * 温水配管の接続部や温水配管などがあるため、床面の足ざわりが周囲と異なる場合があります。

? 床面に凸凹や段差がある

- * 温水床暖房マットを2枚以上併設しているときや、床仕上げ材と周辺の継ぎ合わせ部などには多少の凸凹があるため、光の当たり具合により目立つことがあります。

? 床面の継ぎ目にすき間がある

- * 暖房を使用することにより、乾燥して仕上げ材が収縮し、継ぎ目にわずかなすき間が生じる場合があります。

? 床面が変色した

- * 床仕上げ材に直射日光が長時間当たると、日焼けによる変色やひび割れが生じる場合があります。カーテンやブラインドなどでさえぎるようにしてください。

アフターサービスについて

サービスを依頼される時

P20の「故障・異常かな？と思ったら」を調べていただき、なお異常のあるときは、販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。

連絡していただきたい内容

型番…………… 135-N910型
異常の状況…………… できるだけ詳しく
ご住所・ご氏名・電話番号
訪問ご希望日



保証について

取扱説明書の最終ページに保証書がついています。保証書に記載されている保証期間・保証内容をよくご確認のうえ、大切に保管してください。

無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造中止後10年です。但し、保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。なお、補修用性能部品とは、製品の性能を維持するための部品です。

移設される場合

転居などで機器を移設される場合は、機盤(銘板)に表示してあるガスの種類・電源(電圧・周波数)が移設先と合っているか必ずご確認ください。

不明のときは、移設先のガス事業者、販売店または、もよりの大阪ガスにご相談ください。

ガスの種類の異なる地域へ移設される場合は、機器の改造・調整が必要です。この改造・調整に伴う費用は、保証期間中でも有料です。

ガスの種類によっては改造・調整できない場合があります。

以下の場合、販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください

- * 上記以外の機器の燃焼ランプの点滅(例：2回ずつ点滅するなど)および上記以外のリモコン故障表示が出る時
- * 上記の確認・処置をしてもなお異常のあるとき
- * その他、わからないとき

主な仕様

- ・本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。
- ・ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力での値です。

仕様表

型番	135-N910型
型式名	GH-603W
種類	暖房方式 温水循環方式
設置方式	屋外設置形
点火方式	放電点火式
ポンプ機外揚程(50/60Hz) kPa	57 / 74(5.8 / 7.5 mH ₂ O)以上(6L/分のとき)
膨張タンク有効容量 L	1.55
外形寸法 mm	高さ619×幅250×奥行200
質量(本体) kg	14.0(満水時16.5)
接続口径	暖房 QF16ジョイント
ガス	R1/2
オーバーフロー	R1/2
電源	AC100V (50/60Hz)
消費電力(50/60Hz) W	115 / 145
電気関係	待機時消費電力 W 2.5
安全装置	立消え安全装置、空だき安全装置、空だき防止装置、過熱防止装置、過電流防止装置、ファン回転検出装置、誘導雷保護装置、停電時安全装置、漏電安全装置、沸騰防止装置

能力表

使用ガス	1時間当りのガス消費量(最大消費量) kW	1時間当たりの標準出力(能力最大時) kW
都市ガス 13A	7.09	5.93
L P ガス	7.09	5.93